

名古屋芸術大学フィルハーモニー管弦楽団
Nagoya University of the Arts Philharmonic Orchestra

第 10 回定期演奏会

J.S. Bach

カンタータ「心と口と行ないと命もて」BWV.147 よりコラール “主よ、人の望みの喜びよ”

ミサト長調 BWV.236

2つのヴァイオリンのための協奏曲ニ短調 BWV.1043

管弦楽組曲第3番ニ長調 BWV.1068



©Ayane Shindo

指揮
松井慶太



ヴァイオリン
日比浩一



ヴァイオリン
村瀬芽吹



合唱：名古屋芸術大学ハルモニア合唱団

2022 9.15 thu.18:00開場 18:30開演

三井住友海上しらかわホール

〒460-0008 名古屋市中区栄 2-9-15

☎ 052-222-7110

入場料：1,000円（全指定席）

チケット取扱・お問合せ

名古屋芸術大学演奏課 ☎0568-24-5141

〒481-8503 北名古屋市熊之庄古井 281

主催：名古屋芸術大学 後援：名古屋芸術大学音楽同窓会



©Ayane Shindo
指揮
松井 慶太

1984年青森県八戸市生まれ。3歳よりピアノ、16歳のときピアニストとしてポーランド国立クラクフ交響楽団と共演。2007年、東京音楽大学指揮科卒業。指揮を広上淳一、汐澤安彦、ピアノを故島田玲子、宮原節子、オーボエを安原理喜、音楽理論を久田典子に師事。2006年、韓国で行われたアジア・フィルハーモニック・オーケストラにて指揮をチョン・ミョンフンに師事。2009年、第15回東京国際音楽コンクール入賞・奨励賞受賞。これまでに、ライブツィヒ交響楽団、ブラハ交響楽団室内オーケストラ、ドナウ交響楽団、東京シティ・フィル、日フィル、オーケストラ・アンサンブル金沢、大阪響、九響、京響、群響、札響、セントラル愛知響、仙フィル、名フィル、山響、東京吹奏楽団、東京室内歌劇場等を指揮。2008～2014年には、N響定期演奏会にてデュトワ、ミョンフン、ルイーゼ、ソヒエらのもとで合唱指揮を務め、公演を成功に導く。2017年からはオーケストラ・アンサンブル金沢、伝統芸能 & 室内オペラシリーズを指揮し、好評を博している。2011年～2018年東京混声合唱団コンダクター・イン・レジデンス。2022年9月よりオーケストラ・アンサンブル金沢コンダクターに就任。



ヴァイオリン
日比 浩一

1984年京都市立芸術大学音楽学部卒業、同時に音楽学部賞を受賞。その後、神戸室内合奏団（現・神戸市室内合奏団）ソロヴァイオリン奏者、関西フィルハーモニー管弦楽団コンサートマスターを経て、現在、名古屋フィルハーモニー交響楽団コンサートマスター。これまでに神戸室内合奏団、テレマン室内管弦楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団と協演したのをはじめ、京都・大阪・神戸でリサイタルを開催、NHK-FMにも出演した。また、京都フィルハーモニー室内合奏団客員コンサートマスター、井上まゆみピアノトリオ、アンサンブル・ベガのメンバーとしてなど、幅広い演奏活動を行っている。第32回全国学生音楽コンクール西日本大会第2位。ヴァイオリンを江口邦子、(故)篠原虎一、(故)岩淵龍太郎の各氏に、室内楽を梅原ひまり、岸邊百百雄の各氏に師事。名古屋芸術大学教授、大阪音楽大学特任教授、大阪樟蔭女子大学客員教授。(社)日本演奏連盟、宝塚演奏家連盟会員。



ヴァイオリン
村瀬 芽吹

3歳よりスズキメソッドにてヴァイオリンを始める。第19回大阪国際音楽コンクール 最高位2位の他、数々のコンクールに入賞。2014年、宮島クラス弦楽団オーストリア（ウィーン・ザルツブルク）演奏旅行に参加。2017年、宮島クラス弦楽団ハワイ演奏旅行にて、名古屋フィルハーモニー・オーボエ奏者、寺島陽介氏と共演。2019年、あいち小児保健医療センターへ、アウトリーチ演奏に参加。これまでに宮島克実、日比浩一、寺田史人の各氏に師事。現在、名古屋芸術大学芸術学部芸術学科音楽領域プロフェッショナルアーティストコース1年在学中。



アルト（ミサソロ）
奥村 泰憲【賛助出演】

広島少年合唱隊出身。エリザベト音楽大学宗教音楽学科卒業、同大学院修了後、セルビアとルーマニアに短期留学。広島市立小学校勤務を経て2005年よりウィーン国立音楽大学声楽科、プライナー音楽院指揮科・オペラ科で研鑽を積む。2006年ウィーンでシュツ「マタイ受難曲」イエス役でソリストデビュー、また同地でグルック「トリードのイフェジェニー」トアス王を歌いオペラデビュー。フランス、デンマーク、マケドニア、オーストリア、ドイツで独唱会。宗教曲などソリストを多数務めオペラでは約50の役を演ずる。アーノルトシェーンベルク合唱団、バッハコレギウムジャパンの公演や録音に参加。カウンターテナーとしては19歳から30歳の12年間を休んでいたが、ウィーンで同僚の勧めで再開。アンサンブルでの歌唱が主であったが、近年はベルゴレージ「悲しみの聖母」、ヴィヴァルディ「グローリア」、バッハ「マタイ受難曲」、モーツァルト「戴冠ミサ」、バーンスタイン「ミサ」などでソロを務めている。2016年にはヘンデル作曲「エジプトのジュリアスシーザー」でタイトルロールを歌った。2012年帰国。現在首都圏を中心に11団体の指導を務める。



合唱
名古屋芸術大学ハルモニア合唱団

2019年社会貢献に繋がる質の高い人材育成を目的として混声合唱団を設立。メンバーは中部圏で活躍するプロ歌手で構成され、現在31名。少人数ながら卓越した歌唱力と優れたアンサンブルにより、類い稀な美しいハーモニーを創り出し、聴衆を魅了している。これまでに大学主催のオーケストラ定期演奏会においてモーツァルト「戴冠ミサK.317」「雀のミサK.220」ハイドン「ネルソンミサ」を好演。また、ベートーヴェン「第九」「荘厳ミサ」等東海地区で活躍するプロオーケストラ、外部合唱団への賛助出演も積極的に参加している。ミサ、オラトリオ等の宗教曲からオペラ、オペレッタ、ミュージカル、邦人作品の合唱曲まで幅広いレパートリーを熟す。〈尚、本日演奏いたしますミサ長調 BWV.236 のアルトソロは奥村泰憲（賛助出演）が務めます。ソプラノ奥村育子、テノール大久保亮、バス大倉一将はハルモニア合唱団所属メンバーです。〉



ソプラノ（ミサソロ）
奥村 育子



テノール（ミサソロ）
大久保 亮



バス（ミサソロ）
大倉 一将

コロナウイルス感染拡大防止のためご協力をお願いいたします

- ◎ 37.5℃以上の発熱がある方は、ご入場をお断りいたします。
- ◎ 検温、手指消毒、館内でのマスク着用にご協力ください。
- ◎ 入場券の半券に、お名前、ご連絡先をご記入の上ご入場ください。入場券の確認はスタッフが目視で行います。半券はお客様ご自身でお切りいただき回収いたします。
- ◎ プログラム、チラシの手渡し配布、出演者への贈り物受付は行なっておりません。何卒ご理解ください。

地下鉄をご利用の場合
・地下鉄（東山線・鶴舞線）「伏見駅」5番出口より徒歩約3分

お車をご利用の場合
・名古屋高速都心環状線「錦橋」出口より約10分
・名古屋高速万場線「白川」出口より約5分
※ホールに駐車場はございませんので近隣の有料駐車場をご利用ください。